３章．私たち人間とは

Ⅰ．最初の人間

創世記 2:4-25 を読みましょう

この箇所も創造について、特に、人間の創造について説明がなされています。神は、人が住むための園を用意され、善悪を知る木から取って食べてはならないという命令を与えられました。また男の助け手として女が創造されました。聖アウグスチヌスは、この箇所の意味を次のように解釈しています。「神は、女が男を支配しないように、女を男の頭からお取りにならなかった。また、男が、女を支配しないように、男の足からもお取りにならなかった。しかし、男が女を保護するように、男の腕の近くから、また、男が女を愛するように男の心臓の近くからお取りになった。」

１．人間はどんな材料によって創造されましたか？（2:7）

2．人間が動物とはっきり違っている大きな特徴は何ですか？（2:7）

３．結婚についてこの箇所からどんなことが分かりますか？（Ex:誰が定めたのか？）(2:24)

４．今日の性の乱れは、結婚を定めた神を忘れた結果、起こっていることでしょうか？

Ⅱ．善悪の知識の木（創世記 2:8-17）

アダムとエバは、理想的な楽園で幸福に満ち足りた生活を営むための、すべてが与えられていました。園のどの木からも思いのまま食べることが出来ました。しかし園の中央に生えている善悪の知識の木からは、取って食べることを禁止されました。それに従わないときには必ず死ぬこともはっきり言われていました。

Q．なぜ一本の木からだけ、食べることを禁止されたのでしょうか。以下の中から正しいと思われるものを７つ選んで下さい。

- 特別な意味は無かったが、神が勝手に決めた
- 神と人との関係の霊的な本質が示されている
- 人間が神のことばに従うかどうか見るための試金石であった
- エデンの園で人は幸せに暮らしていた。女に誘惑の手が伸ばされた。蛇、「サタン」とのやり取りの中でだまされて、その木の実は見るからに美しくおいしそうだった。なるほどこれを食べれば、賢くなる、そう思ったエバは食べてみた。結構うまい。そしてすぐにアダムにも手渡した。二人とも神のことばに従わなかった。罪を犯した瞬間恥がやってきた
- この木には特別なマジックがあった。有毒だったから禁止した

- 神のことばに従うことがどんなに大切な命にかかわることであるか、自由意志によってどのように応答するか神への服従のテストであった
- 自由意志をどのように用いるか、神への姿勢が問われている
- 人が神の創造の目的にしたがって生きるための基本的な条件であった
- 一本を禁じられるとかえって他のものも食べたくなるので、食欲を利用して試した
- 神の言われたことに従う範囲において人間は真の自由がある
- 善悪の知識の木から取って食べると、神のようになり、善悪を知るものとなるから、神はそれを嫌った

Ⅲ．最初の人間は何を選んだか？（創世記 3:1-13）

アダムとエバは、神からはっきり、園の中央にある善悪の知識の木からは食べてはならないと禁止されていました。しかし、その後、人間に誘惑の手が伸びてきました。当時とても美しかった蛇を使ってサタンは女に言いました。「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならないと、神はほんとうに言われたのですか？」人類史上、最も最悪なことが起ろうとしていました。

創世記 3:1-5 を読みましょう

1．蛇が女を誘惑したとき、神の話したことばを、正確には引用していません。どんな点が微妙に違っていますか？女性の弱さにつけこまれたと思う点はありますか？（3:1）
※神の命じたこと…（2:16-17）

2．このような言いまわしは、神に対してどのような印象を与えるでしょうか？（3:1）

3．エバの答えを見ると、神のことばをいい加減に聞いている姿が見えます。そのことを 3:2-3 から探してください。

4．サタンははっきり神のことばを否定しました。どんなことを否定しましたか？（3:4-5）

5．今日でもサタンの働きは続いています。同じようなサタンの働きかけにはどんなものがありますか？

6．もし、エバがアダムに相談していたら、どうなっていたでしょうか？

Ⅳ．堕落した人間（創世記 3:7-24）

最初の人間アダムとエバは、蛇にそそのかされて、善悪の知識の木の実を食べてしまいました。神のかたちに造られた人間は自由意志を神に従うためにではなく、サタンの言葉のほうを選んでしまいました。神は「それを食べるその時、必ず死ぬ」と言われましたが、果たしてそれが起きたのでしょうか。

１．善悪の知識の木の実を食べたあと、二人はどうなりましたか？（3:7）

２．罪を犯したあと、二人は神に対してどんな態度をとりましたか？（3:8-10）

３．アダムは責任が誰にあると言っていますか？（3:12）

４．「それを取って食べる、そのとき、あなたは必ず死ぬ」と言われたことが、どのように起こりましたか？彼らはすぐ死にましたか？

Ｖ．堕落後の世界：どのように変化したのだろうか？

1)神から隠れる

神との親しい交わりが断絶され、神から隠れるようになりました。いつもいつも神から自分を隠し、自動的に隠れようとするものとなってしまいました。

2)神を抜きにした善悪の基準

アダムとエバは罪のない状態で造られ、自由意志を与えられ、選択の力を与えられていました。かれらは悪魔にそそのかされて、服従という神の命令も絶対的なものと思わなくなり、無制限の自由こそがすべてにまさると思い込んでいきました。彼らは誘惑に負けてしまいました。神を抜きにした人間の善悪の規準を持つものに成り下がったのです。

3)神からの断絶、霊的死、肉体的死、永遠の死

本来人間は、神のかたちに造られ、神と共に生きる豊かな生き方が約束されていました。しかし、最初の人間アダムとエバは神のことばに従うよりも、自分の生きたいような、自分の善悪の道を選び堕落してしまいました。この時点で神との親しい交わりから遠ざかり霊的に死んでしまったのです。また肉体的には全ての人間が老いて必ず死ぬということが運命付けられました。また人間には永遠の死ということも罪の報酬としてやって来ました。こうして神が言われた「それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ」がその通りになったのです。　ローマ 5:12

4)性のゆがみ、特別視

人間が罪を犯した時、性に対して恥意識を持ち特別視するようになりました。

5)責任転嫁

「すると、仰せになった。『あなたが裸であるのを、だれがあなたに教えたのか。あなたは、食べてはならない、と命じておいた木から食べたのか。』人は言った。『あなたが私のそばに置かれたこの女が、あの木から取って私にくれたので、私は食べたのです。』そこで、神である主は女に仰せられた。『あなたは、いったいなんということをしたのか。』女は答えた。『蛇が私を惑わしたのです。それで私は食べたのです。』」
二人は父なる創造者の前に立たされ、ふるえながら、エデンでの反逆と責任を負わせる身代わりを捜さなければなりませんでした。「誰の責任か？」と神からきびしく追及されると、アダムはエバに、エバは蛇に、その責任を転嫁していきました。
責任を逃れ、道徳的なあやまちの責任転嫁をしようという欲求は、人類始まって以来のものです。

１．あなたは今日の社会がこれと似ていると思いますか？

２．現在の人間の状態を示している箇所…ローマ 3:10-18, 3:23 を読みましょう。23 節の「すべての人は、罪を犯したので…」とありますが、あなたのことも含まれますか？

Ⅵ．人間を救うメシヤ：主イエス・キリスト

罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。　ローマ 6:23

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。　ヨハネ 3:16

イエスはこれを聞いて言われた。「医者を必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。『わたしはあわれみは好むが、いけにえは好まない』とはどういう意味か、行って学んで来なさい。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」
マタイ 9:12

◆私たちはどこから来たのか？

私たちにはふるさとがあります。
天に故郷があります。
永遠の喜びと慰めの場所です。
そこには、悲しみも、涙も、苦しみも、悩みもありません。
わたしたちの霊はここから来ました。
あなたを喜びと慰めの場所へ導くことが出来るのは、救い主、神であるキリストだけです。
イエス・キリストは、あなたにふるさとにある「安息」を与えたいと願っています。
あなたを心から愛し、あなたの罪を赦し、ともに生きたいと願っています。

松島修、「聖書に隠された成功法則」、サンマーク出版、2010年

◆私たちは何処にいくのか？

この地上を去ると、どうなるのか？
「死んでしまえば存在が無くなってしまう」
「死んでしまえば楽になる」
「人生をリセットできる」
と考えている人が多いと思いますが、たとえ死んでも、あなたという存在が無くなることはありません。
あなた自身、つまりあなたの「魂」は、永遠に消えることはないからです。
いつまでも存在し続けます。魂は不滅なのです。
ここを去っても、あなたはまた「別の場所」で永遠に存在し続けます。そして、自分の「魂」の行く先は、この地上であなた自身が決めることになるのです。

松島修、「聖書に隠された成功法則」、サンマーク出版、2010年